梵珠ガイド会通信

2024 － 02 号
2024年 03月10日
自然ふれあい
ボランティアガイド会

■ Spring has come in Bonju

３月８日、朝から久しぶりに天気が良く、それに誘われ梵珠の森へと足を運ぶ。つぼ足でも山頂まで行くことができ、寺屋敷北広場の東屋で休憩。
昼近くでありながらもまだ空気はひんやりと冷たい。
下山の途中、陸奥湾展望所のアカミノイヌツゲは全体がまだ雪に覆われその上のブナの芽を見たら生割れ状態でありました。
マンガンの道２合目付近のマンサクは黄色のリボンが顔を出し、漸く開花したことを確認できました。早春に他の木に先駆けて咲くことから「まず咲く」「真っ先」が転じてマンサクと呼ばれたとか。
梵珠にもようやく春が訪れました。

◆ブナの芽

◆マンサク開花

■新雪の中　「梵太」に会いに行く

3月3日(日）、自然ふれあいセンター主催アニマルトラッキングの行事があり、それに併催して当ガイド会でもカモシカ調査を実施しました。会員8名が参加し、2コースに分かれ現地踏査し、残念ながら「梵太」くんにはお目にかかれませんでしたが、足跡を確認できました。
当日は、午前9時過ぎまで雪が降りあいにくの天気でしたが、ここ数日気温の低い日が続き、新雪の下の雪もしまり、歩くのにはあまり難儀しませんでした。1班はマンガンの道～寺屋敷～水源地を降りるコース、2班はサワグルミの道～岩木山展望所～尾根沿いに降りるコースでした。
新雪が木の枝に着き、まるで木に白い花が咲いてるような幻想的な風景が見られました。

◆蹄の跡がくっきり

◆尾根づたいに下山

2班では、降りていく途中、尾根を横断するカモシカの足跡が4～5カ所みられ、ついさっきカモシカが歩いたと思われる足跡もありました。カモシカ以外のウサギやテンなどの動物の足跡は見つかりませんでした。

サワグルミの登山口近くに降りてきたところ、沢内沢の対岸に2頭のサルを発見。木の芽などを食べているところをパチリ。あたりを見回してもサルの群れは確認できませんでした。帰りの際には同じ場所で赤ちゃんサルも混じった群れを目にしました。今回のカモシカ調査では、2班ともカモシカの足跡を確認していることから、各班とも少なくとも1頭ずつは生息しているのではないかと推察されました。

◆食事中のサル2頭

◆車道沿いのサルによる食害

■ガイド会定時総会無事終了

2月24日、自然ふれあいセンターにおいて当会の定時総会が開催され、原案通り承認されました。当日は、県自然保護課グループマネージャー遠藤副参事、自然ふれあいセンターの村松館長を来賓に迎え会員15名が参加しました。

当ガイド会は県自然保護課の委嘱を受け、小・中学校等のガイド登山やセンター主催事業のサポートの他、会員自主研修を開催してきました。昨年は、青森市内の小学校の梵珠登山ガイドを予定していたところ雨天で中止となりましたが、平賀歩こう会や浪岡中央公民館デイキャンプの一環で梵珠登山案内を実施できました。

総会終了後、県自然保護課、自然ふれあいセンターとの情報交換会が開かれました。その中で、日本チョウ類保全協会から梵珠山のチョウ類のモニタリング調査の依頼があり、6月に現地研修等を実施し、梵珠山におけるチョウ類の現状を調査することとなりました。
また、自然ふれあいセンターから6年度主催事業が12本あり、ガイド会の会員の方々のサポートをお願いしたい旨、お話がありました。

◆総会風景

■ガイド会活動日誌

月　日	活　動　内　容	担当ガイド
2.24	ガイド会定例総会	会員15人参加
3.03	センター主催アニマルトラッキング	講師：木村
3.03	ガイド会カモシカ調査	会員8人参加
3.10	センター主催硬雪トレッキング	鈴木・横山